



石原社長定例記者会見概要

12月3日午後3時から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

＜編成関連＞

下期の視聴率動向は、ドラマの苦戦で全体的に数字を落としているが、バラエティ番組は、いくつか健闘するものが出てきた。『マツコの知らない世界』が平均視聴率で二桁を超える好調なスタートとなり、『所さんのニッポンの出番』も二桁に乗せた。4月に始まった『水曜日のダウンタウン』も下期にかけて視聴率を上げつつあり、今後に期待している。1月ドラマは、期待できるラインナップとなっている。日曜劇場は、直木賞作家、重松清さんのベストセラー小説を映像化した『流星ワゴン』。西島秀俊さん、香川照之さんが出演ということで、大いに期待している。明るさが見えてきたバラエティに加えて、ドラマで巻き返しを図り、上位局との差をさらに縮めたい。

12月14日の衆議院議員選挙の開票特番は、『乱！総選挙2014』と題し、『Nスタ』の竹内明、『NEWS23』の膳場貴子さんをメインキャスターに、解説に岸井成格さん、ゲストに『ひるおび！』の恵俊彰さんのオールTBSの態勢で臨む。

＜営業関連＞

10月のタイムセールスは、ネットタイムでアジア大会が売上に貢献し、ローカルタイムでも日本シリーズがあったので、ともに前年実績を上回った。年末年始セールスは始まったばかりだが、単発セールスも含めて、前年を超える売上を目指している。一方、スポットセールスは、10月、11月ともに、わずかに前年実績を下回る見込み。12月については、選挙に伴う政党スポットは、前回の2012年の選挙には及びそうにないが、全体としての地区投下は、ほぼ前年並みになると見ている。

＜事業関連＞

新しい取り組みとして、フィギュアスケートイベントを1月に二つ開催する。一つは歴代のメダリストによる選手権「メダル・ウィナーズ・オープン」。今回、第二回目の大会で、エフゲニー・プルシェンコさん、織田信成さん、安藤美姫さん等世界的スケーターがメダルを競うもの。もう一つは、浅田真央さんや高橋大輔さんらが出場する「スターズ・オン・アイス」。また、熊川哲也 K バレエカンパニーの「くるみ割り人形」赤坂 Sacas バージョンが12月20日にACTシアターで今年も開幕する。舞台美術や衣装、そして演出も圧倒的なスケールと美しさを誇る作品に仕上がっており、期待いただけるものと思う。

サカス広場では、赤坂の冬の風物詩となったアイススケートリンク「TOYOTOWN ICE GARDEN」が開催中。屋外リンクとしては、都内最大級を誇る。ネット関係では、ニュースサイト「TBS News i」のアクセス数が大幅に伸びている。また、ハイブリッドキャストでは、CM連動型の番組を今週土曜日に放送する予定で、新たなビジネスモデルに育てたいと考えている。

〈NHK のインターネット再送信〉

新たな実施基準案では、スポーツ生中継は試験的な提供にとどめ、追っかけ再生ができるのはハイブリッドキャスト番組に限定すると修正されている。パブコメの結果を踏まえたものと思われるが、期間限定ながら 1 日 16 時間という長大な時間のネット同時配信を、1 万人規模を対象に試験的に行うとするなど、その範囲や対象が未だにあいまいな点もある。配信する対象番組、数、時間を具体的に明示していただきたい。また予算規模は、前回よりは縮小しているが、依然、我々に比べれば相当大規模な金額なので、受信料制度との整合性を十分に吟味する必要がある。

〈ラジオ関連〉 TBSR&C 入江社長

10 月首都圏個人調査率調査の結果、TBS ラジオは 80 期連続 1 位の記録を更新したが数字は前回と変わらず過去最低。さらに全局 S.I.U は 0.3%ダウンし過去最低を更新した。業界全体の問題として重く受け止め、TBS ラジオとしては短期的な対処と長期の取り組みを直ちに実施する。

総選挙の 12 月 14 日、『Session-22』の荻上チキさんを中心に経験豊富なキャスター陣による特別番組を放送。また総選挙特番に先立つ 19 時-20 時でテニスの錦織圭さんの独占インタビュー特番をお届けする。

営業関連、11 月もタイム・スポットともに堅調で、予算前年比とも 3 ヶ月連続 100%超えの見込み。とはいえ、単発出稿が多いためベースとなる数字が作れず、1 月以降も見通せない状況が続いている。

以上